

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月27日

計画の名称	米原市における良好な水環境の形成、総合的な浸水対策の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	米原市												
計画の目標	米原市における快適なくらしと良好な水環境の提供を長期にわたって実現するための基盤整備を図る。 米原市の管路施設の防災・減災対策を実施し、地震や浸水等の災害に強い下水道の構築を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,243	A	1,234	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.72	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	下水道による都市浸水対策の達成率を39.6%(H28)から40.5%(H32)に向上させる。 下水道による都市浸水対策達成率 おおむね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水を実施すべき区域の面積(ha) × 100	39%	39%	41%
2	米原市下水道長寿命化計画において、下水道施設の主要設備の経年化率を118.6%(H28)から97.6%(H32)に改善する。 下水道施設の主要設備の経年化率 主要設備の経過年数の総計(年) / 主要設備の目標耐用年数の総計(年) × 100	119%	106%	98%
3	米原市下水道総合地震対策計画において、広域避難所における地震時の下水道機能確保率を0%(H28)から25.5%(H32)に向上させる。 広域避難所における地震時の下水道機能確保率 総合地震対策工事によって、地震時における下水道管路の流下能力が確保できているエリア内の広域避難所の総収容人数(人) / 米原市内広域避難所の総収容人数(人) × 100	0%	15%	26%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	米原市	直接	米原市	管渠(雨水)	新設	長岡第1排水区等	雨水渠工事・設計 1350mm L=0.4km、U300×300~U700× 500 1500×1000 L=4.1km	米原市						777	-	
	A07-002	下水道	一般	米原市	直接	米原市	管渠(汚水)	改築	米原市公共下水道長寿命 化計画策定および実施	管路施設(マンホールポンプ 施設含む)	米原市						137	策定済	
	長寿命化計画																		
	A07-003	下水道	一般	米原市	直接	米原市	管渠(汚水)	新設	米原市公共下水道総合地 震対策実施	マンホール浮上防止工 104基 、可とう性継手工 186基	米原市							198	策定済
	総合地震対策計画																		
A07-004	下水道	一般	米原市	直接	米原市	管渠(汚水)	改築	米原市公共下水道ストック マネジメント計画策定 および実施(点検調査等 を含む)	管路施設(マンホールポンプ 施設含む)	米原市							102	策定中	
ストックマネジメント計画																			
A07-005	下水道	一般	米原市	直接	米原市	ポンプ場	改築	醒ヶ井真空ステーション 、外2施設 ポンプ場の 耐水化(逆止弁、外)	ポンプ場の耐水化(逆止弁、 外)	米原市							20	-	
											小計						1,234		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						1,234		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	米原市	直接	米原市	管渠（ 汚水）	新設	下水道業務継続計画策定	下水道業務継続計画策定 式	1	米原市						9		-
		管路の耐震化に併せて業務継続計画を策定することで、災害対策効果を向上させることができる。																		
		総合地震対策計画																		
												小計						9		
												合計						9		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 米原市下水道事業審議会ですら事後評価を実施。	事後評価の実施時期 令和3年11月19日
	公表の方法 米原市公式ウェブサイトで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水被害があった長岡第1排水区等の浸水対策を完了することができました。 ・標準耐用年数の超過または到達するマンホールポンプの更新を達成したことで、下水道機能の保持を図ることができました。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の耐水化が完了し、10年確率降雨に対する下水道機能の保持を図ることができました。
特記事項（今後の方針等）	
未達成の浸水対策、長寿命化対策、総合地震対策については、次期計画に引き継ぐものとします。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	41%
	最終実績値	41%
下水道における都市浸水対策の達成率を39.4%(H28)から40.5%(H32)に向上させる。		
2	最終目標値	98%
	最終実績値	71%
米原市下水道長寿命化計画において、下水道施設の主要設備の経年化率を118.6%(H28)から97.6%(H32)に改善する。 当初、マンホールポンプ15基の更新を計画していたが、47基の更新を達成できたため。		
3	最終目標値	26%
	最終実績値	5%
米原市下水道総合地震対策計画において、広域避難所における地震時の下水道機能確保率を0%(H28)から25.5%(H32)に向上させる。 管口耐震に採用しているマグマロック工法が小口径管渠に技術的に対応しておらず、広域避難所で流下能力を確保できた箇所が1箇所のみとなったため。		